



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月2日

上場会社名 新東株式会社 上場取引所 東 札
コード番号 5380 URL https://www.shintokawara.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 達也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 早川 正 TEL 0566-53-2631
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績 (2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,322	△13.7	3	△91.8	14	△77.2	2	△93.2
2023年6月期第2四半期	2,691	△4.5	44	112.2	63	103.4	43	108.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	4.19	—
2023年6月期第2四半期	61.58	—

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第2四半期	6,229	3,293	52.9	4,654.77
2023年6月期	6,422	3,313	51.6	4,682.66

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 3,293百万円 2023年6月期 3,313百万円

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	37.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,616	△8.5	3	△83.8	20	△64.3	5	△79.2	7.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	831,682株	2023年6月期	831,682株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	124,082株	2023年6月期	124,082株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	707,600株	2023年6月期2Q	707,654株

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期特有の会計処理)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、物価上昇による消費マインドの低迷、急激な円安の進行や長期化するロシア・ウクライナ情勢をはじめとした、不安定な世界情勢等の影響から資源価格が高騰する等、依然として経済の先行きについて不透明な状況が続いております。

住宅市場におきましては、国土交通省が発表している建築着工統計調査報告において、持家着工戸数が前年同月比において24カ月連続で下落しており、依然として低い水準で推移しております。また、住宅ローンの金利優遇措置等の住宅取得に伴う負担軽減政策があるものの、円安・資源価格の高騰による住宅価格の上昇等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は、主力製品である「CERAMシリーズ」「SHINTOかわらS」の拡販や新規顧客の掘り起こしの他、Y o u T u b e や L I N E 等のSNSを活用した商品PRやWeb会議型アプリを使用したりリモートによる営業活動に努めてまいりましたが、売上高2,322百万円（前年同期比368百万円減少）となりました。

利益面におきましては、原油価格高騰による製造コスト上昇や、円安による商品の仕入コスト増加等に対して、販売価格への転嫁を行ってまいりました。また、工程管理の強化や効率生産を行ってまいりましたが、売上総利益413百万円（前年同期比31百万円減少）、営業利益3百万円（前年同期比41百万円減少）、経常利益14百万円（前年同期比49百万円減少）、四半期純利益2百万円（前年同期比40百万円減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比較して179百万円減少し、2,506百万円となりました。これは主に、現金及び預金が74百万円増加したこと等に対し、商品及び製品が107百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が147百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して13百万円減少し、3,723百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が31百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して193百万円減少し、6,229百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比較して222百万円減少し、2,372百万円となりました。これは主に電子記録債務が59百万円、未払消費税等が54百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して48百万円増加し、563百万円となりました。これは主に、長期借入金が52百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比較して173百万円減少し、2,935百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、四半期純利益が2百万円となり、剰余金の配当が26百万円あったこと等により、19百万円減少の3,293百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により108百万円増加し、投資活動により33百万円減少し、財務活動により0百万円減少となり、あわせて74百万円増加し、当第2四半期会計期間末には136百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の収入は、108百万円となりました。

これは、主に売上債権の減少135百万円、棚卸資産の減少106百万円、非資金費用である減価償却費52百万円等の増加要因に対し、仕入債務の減少85百万円、未払又は未収消費税等の増減額54百万円等の減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の支出は、33百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出23百万円、固定資産の除却による支出8百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金の支出は、0百万円となりました。

これは、主に長期借入れによる収入40百万円等の増加要因に対し、配当金の支払額27百万円等の減少要因があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、2023年8月3日に公表いたしました業績予想を本日(2024年2月2日)別途開示の「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正いたしております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	181,789	256,397
受取手形、売掛金及び契約資産	801,561	653,761
電子記録債権	197,067	209,582
商品及び製品	1,412,544	1,305,232
仕掛品	12,544	10,613
原材料及び貯蔵品	55,286	60,133
その他	27,034	12,336
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	2,685,828	2,506,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	705,683	674,410
機械装置及び運搬具（純額）	85,416	88,885
土地	2,717,187	2,717,187
その他（純額）	93,937	87,877
有形固定資産合計	3,602,223	3,568,360
無形固定資産	2,417	4,186
投資その他の資産		
投資有価証券	96,270	102,196
その他	36,181	48,897
投資その他の資産合計	132,451	151,093
固定資産合計	3,737,092	3,723,640
資産合計	6,422,920	6,229,697

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	252,154	226,468
電子記録債務	317,655	257,705
短期借入金	1,639,996	1,617,988
未払法人税等	31,465	7,185
賞与引当金	6,010	5,844
その他	347,393	257,320
流動負債合計	2,594,675	2,372,511
固定負債		
長期借入金	186,678	239,357
退職給付引当金	178,305	176,718
損害賠償引当金	19,733	19,733
資産除去債務	36,418	36,819
繰延税金負債	6,671	8,323
その他	86,990	82,518
固定負債合計	514,798	563,470
負債合計	3,109,473	2,935,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,903	412,903
資本剰余金	348,187	348,187
利益剰余金	2,634,889	2,611,316
自己株式	△125,253	△125,253
株主資本合計	3,270,727	3,247,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,720	46,561
評価・換算差額等合計	42,720	46,561
純資産合計	3,313,447	3,293,715
負債純資産合計	6,422,920	6,229,697

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,691,138	2,322,248
売上原価	2,246,114	1,908,826
売上総利益	445,024	413,421
販売費及び一般管理費	400,155	409,746
営業利益	44,868	3,675
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	1,687	1,922
受取運送料	11,182	7,741
支援金収入	5,591	—
その他	8,688	7,226
営業外収益合計	27,152	16,892
営業外費用		
支払利息	6,070	5,889
その他	1,974	87
営業外費用合計	8,044	5,977
経常利益	63,977	14,591
特別損失		
固定資産除却損	—	8,829
特別損失合計	—	8,829
税引前四半期純利益	63,977	5,761
法人税等	20,400	2,800
四半期純利益	43,577	2,961

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	63,977	5,761
減価償却費	56,812	52,795
固定資産除却損	—	8,829
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,898	△1,587
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△136	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△80	△166
受取利息及び受取配当金	△1,690	△1,924
支払利息	6,070	5,889
売上債権の増減額 (△は増加)	13,120	135,285
棚卸資産の増減額 (△は増加)	142,453	106,174
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,667	△85,636
未払金の増減額 (△は減少)	△20,589	△29,729
未払又は未収消費税等の増減額	111,759	△54,633
その他	△8,838	△1,513
小計	365,090	139,546
利息及び配当金の受取額	1,988	1,924
利息の支払額	△5,559	△5,523
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	12,127	△27,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	373,646	108,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,005	△70,005
定期預金の払戻による収入	70,005	70,005
有形固定資産の取得による支出	△35,237	△23,490
固定資産の除却による支出	—	△8,829
その他	△221	△1,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,459	△33,593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,020,000	1,170,000
短期借入金の返済による支出	△1,260,000	△1,180,000
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△16,665	△39,329
リース債務の返済による支出	△4,109	△4,287
配当金の支払額	△26,336	△27,049
その他	△144	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287,255	△665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,932	74,608
現金及び現金同等物の期首残高	107,520	61,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	158,452	136,391

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。